

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

6月報

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ 報告数は0件(前月比一、前年同月比一)でした。2020年3月以降、報告はほぼありません。

小児科定点

(全体傾向)

報告数2,244件(前月比1.31、前年同月比1.31)で、前月よりも増加しました。4月から続く感染性胃腸炎の増加傾向に加えて、咽頭結膜熱や手足口病などの例年夏季に流行する感染症も増えてきたためです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数4件(前月比0.8、前年同月比0.0)でした。4月以降、低水準が続いています。熊本と宇城から2件ずつの報告です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数67件(前月比1.9、前年同月比0.6)でした。前月からの増加傾向が続いています。山鹿(2.50)からの報告が多いようです。1歳を中心に6ヶ月から3歳までに集中しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数39件(前月比2.0、前年同月比0.5)でした。前月より増加しましたが、2020年5月以降大きな変動は無く、低い水準が続いています。人吉(1.33)、宇城(1.25)、熊本(1.19)からの報告が若干多いようです。年齢は3~4歳をピークに幅広く分布しています。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1625件(前月比1.3、前年同月比3.3)でした。4月から増加傾向が続いています。過去2年に比べ、約3倍の高い水準で推移しています。菊池(106.60)からの報告が目立ちます。1~3歳を中心に全年齢層から報告されています。
5. 水痘 : 報告数24件(前月比1.3、前年同月比1.0)でした。2020年5月以降、低い水準が続いています。菊池(1.60)、有明(1.00)からの報告が多いようです。
6. 手足口病 : 報告数107件(前月比4.9、前年同月比0.3)でした。前月からの増加傾向が続いています。夏季を迎え、本格的な流行が始まると予想されます。菊池(6.60)、御船(5.67)からの報告が多いようです。年齢別は1~2歳で約7割(78/107)を占めています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数4件(前月比1.0、前年同月比0.8)でした。2020年5月から低い水準が続いています。熊本、菊池、八代、有明からの報告でした。
8. 突発性発疹 : 報告172件(前月比1.1、前年同月比1.2)でした。コロナ流行下でも大きな変化は無く、例年と同様に推移しています。菊池(8.80)からの報告が多いようです。
9. ヘルパンギーナ : 報告数22件(前月比3.1、前年同月比1.0)でした。まだ少数ではありますが前月からの増加傾向が続いています。天草(3.00)、水俣(1.50)からの報告が多いようです。1歳の報告が半数を占めています。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数6件(前月比0.6、前年同月比1.5)でした。少数報告が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 12 件(前月比 0.8、前年同月比 0.6)と減少しています。熊本 9 件、有明 3 件の報告です。30~39 歳台にピークがあります。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数93件(前月比1.5、前年同月比1.1)で、前月比で1.5倍に前年同月比は微増でした。男女別では男性が64件で、女性は29件で男性が前月から倍増しています。年齢別では男性が15~64歳と幅広い年齢層に、女性は20~44歳にみられています。地区別は熊本が72件と圧倒的に多く、御船と宇城が共に5件、菊池と八代が共に4件、有明が3件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数19件(前月比1.1、前年同月比0.8)で、前月比で微増、前年同月比で軽度減少しています。男女別では男性が7件、女性が12件でした。年齢別では男性が25~54歳に、女性は25~44歳、55~70歳以上にみられています。地区別は熊本が10件、八代が4件、菊池が2件、御船と有明と宇城が各々1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は15件(前月比1.9、前年同月比1.7)で、前月比で2倍弱、前年同月比は1.7倍に増加しています。男女別では男性が8件、女性が7件でした。年齢別では男性が20歳~54歳に、女性は20歳~34歳にみられています。地区別では熊本が13件、菊池が2件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は21件(前月比1.0、前年同月比0.8)で、前月比では変化なく、前年同月比で軽度減少しています。男女別では男性が19件、女性は2件でした。年齢別では男性が20歳~49歳、60歳~64歳に、女性は20歳~29歳にみられています。地区別は熊本が16件で、菊池、八代、宇城、有明、御船が各々1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数は11件(前月比：0.5、前年同月比：0.6、男女比：8/3)と減少傾向でした。熊本(4)、有明(3)、山鹿・阿蘇・人吉・天草(各1)でした。年齢分布としては70歳以上(8)、50-54歳・55-59歳・60-64歳(各1)と高齢者に多く認められました。
▼例年よりやや少なめの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数は1件(前月比：1.0、前年同月比：0.3、男女比：-/1)と減少傾向でした。有明(1)でした。年齢分布としては70歳以上(1)でした。
▼例年よりやや少なめの報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数は1件(前月比：1.0、前年同月比：0.5、男女比：1/-)でした。山鹿(1)で、年齢分布としては70歳以上(1)でした。
▼例年並みの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 報告数は0件(前月比 : -、前年同月比 : -)で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数となっています。
2. 無菌性髄膜炎 : 報告数は1件(前月比 : 0.5、前年同月比 : 1.0)で減少傾向でした。熊本(1)で、年齢分布としては60-64歳(1)でした。
▼例年並みの報告数です。
3. マイコプラズマ肺炎 : 報告数は0件(前月比 : -、前年同月比 : -)で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。
4. クラミジア肺炎 : 報告数は0件(前月比 : -、前年同月比 : -)で報告はありませんでした。
▼昨年度に引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる) :
報告数は0件(前月比 : -、前年同月比 : -)で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。

届け出対象感染症

1類感染症	: 報告はありませんでした。	
2類感染症	: 結核	25件
3類感染症	: 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	: レジオネラ症	2件
	重症熱性血小板減少症候群	2件
	日本紅斑熱	6件
5類感染症	: カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	破傷風	1件
	梅毒	26件
新型インフルエンザ等感染症 :		
	新型コロナウイルス感染症	16,499件